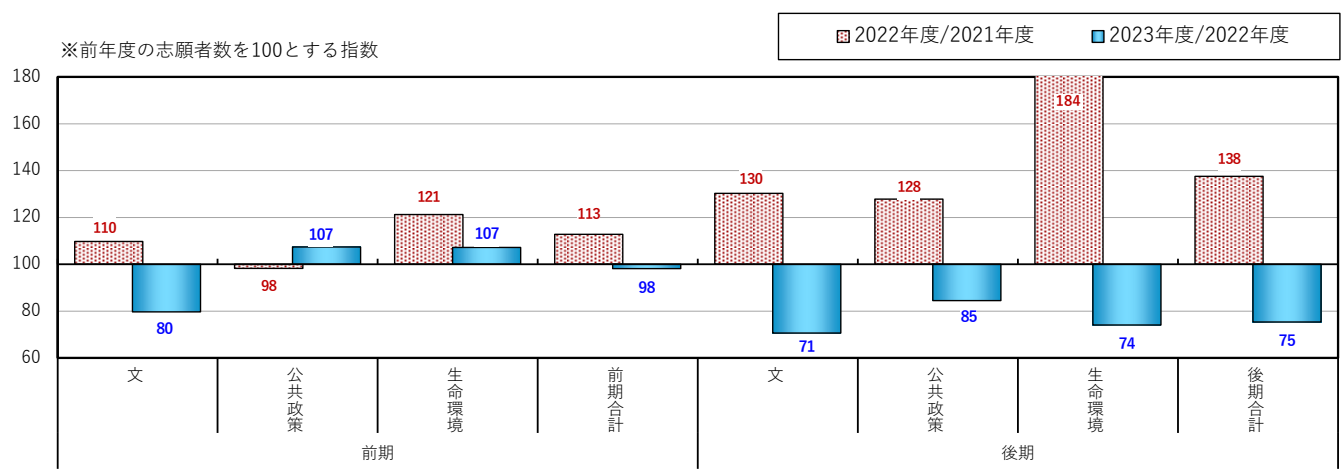


京都府立大：前期は微減、後期は大幅減少

前期：-18 人 後期：-204 人



**主な入試変更点**

共通テスト：文(欧米言語文化)<後>…国+歴公+外 ※歴公：世 Bor 日 Bor 地理 Bor 倫政  
 →国+歴公+外 ※歴公：世 Bor 日 Bor 地理 Bor 現 or 倫 or 政 or 倫政  
 ※歴公の選択に公民 2 単位科目追加

個別試験：全学部・全学科(生命環境(生命分子化学)<前><後>を除く)…調査書の点数化廃止  
 生命環境(生命分子化学)<前>…数<200>+理 2<400>+外<200>+調<100>=総点<900>  
 →数<200>+理 2<400>+外<200>+調<20>=総点<820>  
 ※調査書の配点変更  
 <後>…調<100>→調<20> ※調査書の点数化における配点の縮小

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は前年度増加の反動は小さく 18 人(98)の微減、後期は前年度大幅増加の反動で 204 人(75)の大幅減少。調査書の点数化の廃止または配点の縮小を行ったが、志願者数増加には繋がらなかった。

**<前期日程>**

- 文(80)**は、前年度増加の反動で大幅減少、志願者数は 250 人で、4 学科設置となった 2019 年度以降では最少。学科別では、4 学科全てが減少。(和食文化)(77)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(日本・中国文)(78)は前年度増加の反動により大幅減少で志願倍率 3.2 倍は、4 学科設置となった 2019 年度以降では最低。(歴史)(79)も大幅減少で志願倍率 3.7 倍は 4 学科設置となった 2019 年度以降では最低。(欧米言語文化)(86)は減少で志願倍率 3.5 倍は 4 学科設置となった 2019 年度以降では最低。
- 公共政策(107)**は、やや増加で 3 年ぶりに増加。学科別では、(福祉社会)(126)は 2 年連続大幅増加。一方で、(公共政策)(92)は前年度大幅減少に引き続き減少、志願倍率は 3 倍を下回った。
- 生命環境(107)**は、系統への高い人気もあって、やや増加で 3 年連続増加。学科別では、6 学科中 4 学科が増加。(環境・情報科学)(156)は、前年度大幅減少の反動で 50%以上の大幅増加、志願倍率も 3.6 倍→5.6 倍にアップ。(環境デザイン)(124)は 3 年連続大幅増加、志願倍率も 4.2 倍→5.2 倍にアップ。(農学生命科学)(115)は、前年度減少の反動で大幅増加。一方で、(生命分子化)(69)は、前年度約 2.5 倍増の反動で大幅減少、(食保健)(77)も前年度大幅増加の反動で大幅減少。

**<後期日程>**

- 文(71)**は、前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願者数は 298 人で、4 学科設置となった 2019 年度以降では最少。学科別では、4 学科全てが大幅減少。(日本・中国文)(65)は 3 年連続大幅減少、志願倍率も 16.5 倍→10.8 倍にダウン。(欧米言語文化)(71)は 2 年連続増加の反動で大幅減少、志願者数は 100 人を下回った。(和食文化)(72)は前年度 8 倍増の反動で大幅減少だが 2019 年度の新設以降では 2 番目に多い志願者数、(歴史)(72)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 公共政策(85)**は、2021 年度から募集人員が 14 人になったが、2 年連続大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(公共政策)(73)は 2 年連続大幅増加の反動で大幅減少。一方で、(福祉社会)(111)は 2 年連続大幅増加に引き続き増加。
- 生命環境(74)**は、3 学科での募集となって 3 年目だが、前年度激増の反動で大幅減少。学科別では、(農学生命科学)(43)は前年度 2.6 倍増以上の反動で半減以下。一方で、(生命分子化学)(134)は募集人員が 3 人になった 2021 年度以降は連続大幅増加、志願倍率も 12.7 倍→17.0 倍にアップ。(森林科学)(118)は前年度増加に引き続き大幅増加。